

---

☀ 昭和天皇のお言葉 ☀

---

「どうして庭を刈ったのかね。」

「雑草が生い茂ってまいりましたので、一部お刈いたしました。」

「雑草ということはない。」

「どんな植物でも、みな名前があって、それぞれ自分の好きな場所で生を営んでいる。人間の一方的な考え方でこれを雑草と決めつけてしまうのはいけない、注意するように」

なるほど、その後、陛下のお言葉に雑草ということをお聞きしたことがない。

『雑草の科学』(沼田真編、研成社)の中に、「雑草は、作物に対する一群の植物のカテゴリーであって、人間が自分のために栽培し収穫しようとする作物に対して作物以外のすべての植物、招かれざる客として入り込む植物である。」と。

こよなく自然を愛される陛下にとっては、すべての植物はご愛草なのである。

ただ、吹上御所にも招かれざる客が来る。それはヒメジョオンであり、ハルジョオンであり、ヒメムカショモギの類である。つまり、これらは外来の繁殖力の旺盛な植物であって、他の植物の害となる。

これが陛下の雑草とってよいだろう。これらの植物は、陛下もご自身でできるだけお抜きになるのである。

入江相政（元侍従長）編『宮中侍従物語』

雑草とご愛草より